

令和2年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果について

1. 第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の重点支援について

第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金（以下「運営費交付金」という。）については、各国立大学の機能強化の方向性に応じた取組をきめ細かく支援するため、予算上、3つの枠組みを設けて重点支援を行うこととし、各国立大学は、それぞれの機能強化の方向性や第3期中期目標期間を通じて特に取り組む内容を踏まえて、いずれかの枠組みを選択しています。

重点支援は、各国立大学から拠出された金額（選択した以下の重点支援の枠組みを踏まえて決定される「機能強化促進係数」に基づく金額を運営費交付金から拠出）を、「国立大学法人の運営費交付金に関する検討会」（以下「検討会」という）の評価に基づき再配分するものです。

【重点支援①】

主として、人材育成や地域課題を解決する取組などを通じて地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界ないし全国的な教育研究を推進する取組等を第3期の機能強化の中核とする国立大学法人を重点的に支援する。

【重点支援②】

主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界ないし全国的な教育研究を推進する取組等を第3期の機能強化の中核とする国立大学法人を重点的に支援する。

【重点支援③】

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に世界で卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を第3期の機能強化の中核とする国立大学法人を重点的に支援する。

なお、本評価は、運営費交付金の一部を再配分し重点支援を行うことにより、各国立大学法人の強み・特色を踏まえた大学の機能強化を目的とするものであり、中期目標・中期計画の進捗状況を調査・分析する国立大学法人評価とは異なり、国立大学法人の業務全般の評価を行うものではありません。

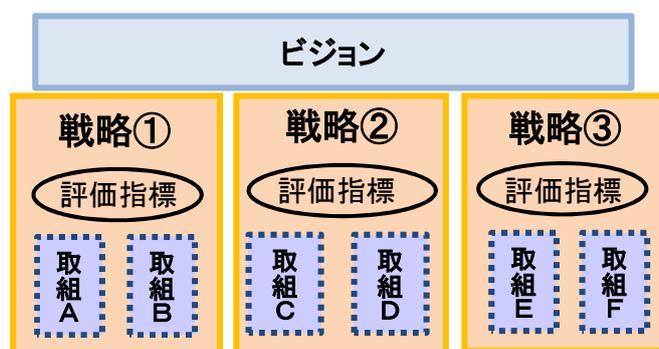
2. 検討会における審議について

今年度の評価に当たっては、国立大学法人に関する知見を有する有識者12名（名簿：別紙1）で構成する検討会を計4回開催・審議を行い、評価を実施しました。

3. 各国立大学法人における構想について

各国立大学法人は、第3期中期目標を踏まえて作成した「ビジョン」に基づき、その実現に向けた具体的な方針である「戦略」を作成し、その達成状況を判断するための「評価指標（KPI）」をそれぞれ主体的に設定し、PDCAサイクルの確立に努めながら自主・自律的な機能強化に向けた取組を実施しています。

【各国立大学法人の提案イメージ】



- ✓ 第3期中期目標を踏まえ、予算上の重点支援の枠組みに応じた「ビジョン」を策定。
- ✓ 「ビジョン」の実現に向けた具体的な改革の方針(教育・研究・社会貢献, 組織再編構想, ガバナンス改革, 人事・給与システム改革等)を「戦略」として構想。
- ✓ 各「戦略」の達成状況を判断するための「評価指標(KPI)」を設定。
- ✓ 各大学が設定した「評価指標(KPI)」の進捗状況等を踏まえた戦略評価を実施。

4. 評価の対象について

評価については、各国立大学法人から提案のあった296の「戦略」を対象として実施しました。

提案の状況	戦略	
	大学数	戦略数
重点支援①	55	175
重点支援②	15	53
重点支援③	16	68
計	86	296

5. 評価の趣旨等について

令和2年度予算における運営費交付金の重点支援に係る評価においては、各国立大学法人が自ら改善・発展するためのPDCAサイクルを一層促進する観点から、国立大学法人が自ら設定した戦略の達成状況を判断するための評価指標（KPI）の進捗状況等を確認しました。

具体的には、「6. 評価項目について」及び「7. 評価項目ごとの評価方法等について」により、指標の適切性や数値等の進捗状況を確認し、設定された評価指標（KPI）が進捗していない場合（数値の減少や変化が見られない等）については、その原因分析及び今後の対応策が示されているかの確認をするなど、各国立大学法人におけるPDCAサイクルが適切に機能しているかの確認を行いました。

6. 評価項目について

1. 評価指標（KPI）の設定について

各大学が策定した 296 の戦略に位置付けられた 944 の評価指標（KPI）ごとに、昨年度評価からの継続性も踏まえ、次の評価項目の観点による確認を通じて、総合的に評価を行いました。

【評価項目①】評価指標（KPI）の設定が適切か

具体的には、評価指標（KPI）の適切性及び目指す水準の妥当性等において、以下の3つの観点を満たしているか。

- ・評価の焦点化が図られるよう適切にKPIが設定されているか。
- ・事後の客観的な検証が可能な指標となっており、成果・効果を測ることができる指標として設定されているか。
- ・戦略の推進によって目指す成果等の水準について、これまでの実績や実現可能性も踏まえた考え方が適切であるか。なお、その目指すべき目標値等については、社会からの期待を踏まえ国立大学が目指すべき成果等の水準として適切であるか。

2. 評価指標（KPI）の進捗状況の確認について

各評価指標（KPI）の進捗状況について、具体的な目標値等以上の実績値等を達成しているかどうかを中心に、設定された評価指標（KPI）ごとに評価を行いました。

【評価項目②】平成 30 年度の実績値について

- ・設定された目標に向けて、着実に進捗しているか。
- ・着実に進捗していない場合（数値が減少、変化が見られない場合）、今後の改善に向けた具体的な対応方策が示されているか。

7. 評価項目ごとの評価方法等について

評価項目ごとの評価については、以下に示す観点により確認を行いました。

1. 評価指標（KPI）の適切性の確認について

(1) 各大学が作成した調書等において、3つの評価の観点（p 3 参照）を満たしているかどうかで判断し、「a 評点」、「b 評点」、「c 評点」、「d 評点」の4段階評価。

(2) 具体的な評点

評点	具体的な評点内容
a 評点	・ 3つの評価の観点すべてを満たしており、特に目指す成果等の水準について、特筆して高く意欲的な目標と判断できる。
b 評点	・ 3つの評価の観点すべてを満たしている。
c 評点	・ 3つの評価の観点いずれか1つの観点を満たしていない。
d 評点	・ 3つの評価の観点のうち2つ以上の観点を満たしていない。 ・ 評価の観点いずれかにおいて重大な課題がある。

2. 評価指標（KPI）の進捗状況の確認について

(1) 基準値及び年度ごとの目標値等以上の実績値等を達成しているかどうかを中心に判断し、「a 評点」、「b 評点」、「c 評点」、「d 評点」の4段階評価。

(2) 具体的な評点

評点	具体的な評点内容
a 評点	基準値及び平成 30 年度の目標値以上の実績値が示されている上で、以下のいずれかを満たしている。 ・ 基準値、年度ごとの目標値及び最終年度の目標値等に照らし、実績値が著しく進捗している場合。 ・ その他、各種政府方針等(※)を踏まえ、実績値が非常に高い場合。
b 評点	・ 基準値及び平成 30 年度の目標値以上の実績値が示されている。
c 評点	・ 目標値に達していないが、今後の改善に向けた具体的な対応方針が示されている。
d 評点	以下のいずれかに該当している。 ・ 実績値が目標値に達せず、今後の改善に向けた具体的な対応方針が示されていない。 ・ 基準値、各年度の目標値や平成 28 年度、平成 29 年度、平成 30 年度の実績値が示されていない。 ・ 平成 30 年度実績値が基準値を下回っているなど、実績値が非常に低い。 ・ 評価項目①が d 評点

※ 「未来投資戦略 2018」、「統合イノベーション戦略 2019」及び「まち・ひと・しごと創成基本方針 2019」等

8. 評価結果について

全 86 国立大学法人から提案のあった、296 の戦略の達成状況を判断するための、944 の評価指標 (KPI) を対象として、評価項目ごとの評価の観点に基づいて確認を行い、その評価結果について、集計した結果は次のとおりです (各国立大学法人の評価結果一覧：別紙 2)。

評価項目ごとの評点	a 評点	b 評点	c 評点	d 評点	合計
評価項目① 「評価指標の適切性」	6	909	29	0	944
評価項目② 「平成 30 年度の実績を踏まえた進捗状況」	197	706	27	14	944

9. 各国立大学法人の特筆すべき取組の事例について

教育・研究、産学官連携等に関して、基準値、年度ごとの目標値及び最終年度の目標値等に照らし、実績値が著しく進捗しているなどの評価指標 (KPI) として選定された事例は以下のとおりです。

教育・研究面

北海道大学

戦略名：「国内外の地域や社会の活性化及び新たな価値の創造に貢献」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30 の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元 年度	R2 年度	R3 年度	
博士課程キャリア支援の状況 (企業への就職者数)	第 2 期累計 の平均値	目標値 (単位： 人)	27	54	81	108	135	165
	28	実績値 (単位： 人)	66	107	165			
	589.3%	達成状況 (率)	244.4%	198.1%	203.7%			100.0%

一橋大学

戦略名：「社会科学高等研究院を中核とする世界最先端の研究の推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
科研費採択率の 高水準維持（全 国1位）	H27年度末	目標値 (単位： 位)	全国 1位	全国 1位	全国 1位	全国 1位	全国 1位	全国 1位
	全国1位	実績値 (単位： 位)	全国 1位	全国 1位	全国 1位			
	100.0%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%

地域連携等

三重大学

戦略名：「研究成果を地域に還元する機能と地域の様々な主体となるハブ機能の強化」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
三重県の全ての 自治体（29市 町）との協定の 締結と各自治体 との取組の実施 状況	平成26年 度末時点	目標値 (単位：延 べ市町・件 数/年)	延べ19 市町（県 内全市 町）・ 41PJ	延べ24 市町（県 内全市 町）・51 PJ	延べ29 市町（県 内全市 町）・61 PJ	延べ29 市町（県 内全市 町）・71 PJ	延べ29 市町（県 内全市 町）・81 PJ	延べ29 市町（県 内全市 町）・ 86PJ
	14市町・ 41PJ	実績値 (単位：延 べ市町・件 数/年)	延べ29 市町（県 内全市 町）・ 41PJ	延べ29 市町（県 内全市 町）・ 60PJ	延べ29 市町（県 内全市 町）・ 131PJ			
	-	達成 状況 (率)	-	-	-			-

大阪教育大学

戦略名：「本学の強みを生かし、大阪府を含めた全国的な教育ニーズに対応した教育研究の推進及び発信」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率		目標値・実績値・達成状況					
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度
地域の教育委員会や学校現場と機能的・効果的な連携を図るため、本学が開発した安全教育教材を利用実践した学校の増加状況	平成27年	目標値 (単位：校)	31	45	59	73	87	100
	17	実績値 (単位：校)	42	59	75			
	441.2%	達成状況 (率)	135.5%	131.1%	127.1%			75.0%

グローバル化

東北大学

戦略名：「国際競争力を強化するとともに、世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行う」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率		目標値・実績値・達成状況					
			H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度
第3期中期目標期間中に通年での外国人留学生を3,000人に拡大する	平成26年度末	目標値 (単位：人)	2,300	2,500	2,700	2,800	2,900	3,000
	2,177	実績値 (単位：人)	3,208	3,271	3,405			
	156.4%	達成状況 (率)	139.5%	130.8%	126.1%			113.5%

広島大学

戦略名：「国際交流の推進と地域社会への貢献」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
全学生に占める留学生割合 (通年)	平成27年度 (通年)	目標値 (単位： %)	12.1	13.2	14.4	17.4	18.2	19.0
	13.0	実績値 (単位： %)	14.7	16.9	19.0			
	146.2%	達成状況 (率)	121.5%	128.0%	131.9%			100.0%

産学連携の推進等

京都大学

戦略名：「グローバル化に対応した産官学連携及び最先端で質の高い医療の開発・提供等による社会貢献事業の推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
本学の研究成果 を活用したベン チャー企業数の 増加状況	H28	目標値 (単位： 社)	7	13	19	26	33	40
	0	実績値 (単位： 社)	7	18	35			
	—	達成状況 (率)	100.0%	138.5%	184.2%			87.5%

東京工業大学

戦略名：「研究成果の社会実装を促進する産学連携・社会連携改革」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
平成16年度(法人化)以降の知財収入を本学にもたらした東工大発ベンチャーの累計	平成27年度	目標値 (単位：社 累計)	19	21	23	25	27	30
	17	実績値 (単位：社 累計)	20	23	29			
	170.6%	達成状況 (率)	105.3%	109.5%	126.1%			96.7%

徳島大学

戦略名：「徳島大学の強み・特色である「生命系」、「理工系」分野における、研究クラスターを基軸とした、「酵素」、「LED」領域など異分野融合型の最先端の特色ある研究の推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
特許料収入	第2期中期 目標期間	目標値 (単位： 千円)	33,333	66,666	99,999	133,332	166,665	200,000
	91,150	実績値 (単位： 千円)	103,213	138,611	176,135			
	193.2%	達成状況 (率)	309.6%	207.9%	176.1%			88.1%

マネジメント改革

帯広畜産大学

戦略名：「国際貢献機能を強化するため、国際機関、国際協力機関等と連携した教育研究事業による海外展開、海外拠点整備を推進する。」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
全教員に年俸制を適用する。	H26年度末	目標値 (単位： %)	83.3	88.9	94.4	100	100	100
	77.7	実績値 (単位： %)	98.4	99.2	99.2			
	127.7%	達成状況 (率)	118.2%	111.6%	105.1%			99.2%

金沢大学

戦略名：「積極的なガバナンス改革による戦略的マネジメントの推進」

評価指標	(上段) 基準時点 (中段) 基準値 (下段) 基準値から H30の伸び率	目標値・実績値・達成状況						
		H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	
業績評価に基づく人事評価制度の導入及び当該業績評価の評価結果を給与処遇に反映する取組の実施状況	平成27年度当初	目標値 (単位： %)	100	100	100	100	100	100
	実施率 0%	実績値 (単位： %)	100	100	100			
	100.0%	達成状況 (率)	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%

10. 評価結果の予算案への反映について

評価指標（KPI）の評価結果に基づき、当該大学の評価対象経費を基礎として、評価項目②における各評価指標（KPI）の評価結果について、以下の得点換算表に基づき得点化し、戦略ごとの平均点を算出して、各戦略の平均点を合算した数値を戦略数で除し、法人の平均点を算出します。各法人の平均点と以下の配分表に基づき配分率を決定し、評価対象経費に配分率を乗じることによって配分額を算出しています。

なお、メリハリある再配分を実施する観点から、令和2年度予算における運営費交付金の重点支援に係る評価の対象経費については、「機能強化促進係数」により各大学から拠出された金額を含む約250億円を評価対象経費としました。

※注1 評価項目①（評価指標の適切性）の評価結果については、予算への反映は行っていません。

（得点換算表）

評点	得点
a	10
b	6
c	2
d	0

（配分表）

配分率	重点支援① (55大学)	重点支援② (15大学)	重点支援③ (16大学)
105%	7大学	1大学	1大学
102.5%	10大学	3大学	3大学
100%	13大学	4大学	7大学
97.5%	9大学	3大学	1大学
95%	16大学	4大学	4大学

（大学の得点計算のイメージ）

A大学		評価項目②	得点換算	戦略平均	A大学平均
戦略1	指標①	a	10	6	4.5
	指標②	c	2		
戦略2	指標③	d	0	3	
	指標④	b	6		